

インフレとデフレ

インフレ



**お金の
価値が下がる**
商品の価値 > お金の価値

デフレ



**お金の
価値が上がる**
商品の価値 < お金の価値

「インフレ」「デフレ」とは?

景気がいいと商品を買う人が増え、高くても商品が売れるので、商品の価格はどんどん上がります。この状態が続くことを「インフレーション（インフレ）」といいます。インフレが進みすぎると、給料の上昇が追いつかない状態で商品の価格が上がることになり、人々の購買意欲（買いたい！という気持ち）を下げる可能性もあります。インフレの反対が、「デフレーション（デフレ）」。商品の価格は安くなりますが、会社の利益が減ってしまいます。景気が悪いときには、日本銀行が金融政策を行って、物価や通貨の価値を安定させようとします。日本政府も財政政策を行い、国民の税金を調整して、世の中の通貨の流通量を調節します。また、公共事業を行い、その地域の業者や住民を中心に、お金を活発に動かすのも政府の大事な役割です。